

技術の内容

青果ネットカタログ(以下、SEICA)は、外部システムとデータ通信ができるWebサービスのインターフェースを有している。このWebサービスを使って、必要な情報を外部システムがSEICAからダウンロードし、情報を再利用するアプリケーションが次々と実用化されており、今後も様々な製品が出現するものと期待される。

一方、このWebサービスと特許(出願中)を組み合わせることで、現在、米等で問題になっている偽証に関する有効なソリューションが提供可能である。

実用アプリケーション

他にも多くの民間システム・ソフトとの連携が進行中です。

SEICAの機能拡張ASPサービス [VIPS v.2]

SEICAと連携することで、独自の情報公開システムを実現。システム利用を短期間で可能にするだけでなく、初期投資費用を低減し、システム運用管理の負担も軽減される。また、掲示板、アンケート機能などを駆使して、産地のブランド化を推進することが可能。

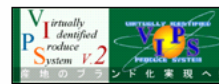
PUSH型店頭端末 [モ二郎]

SEICAから必要な情報を自動的に取得し、モニタ上に効果的に表示するシステム。QRコードリーダにも対応し、商品リストの自動作成機能により、ワンタッチで情報閲覧ができる。バージョンアップを含め全てがリモート操作でなされ、お店では、パソコンの電源を「入・切」するだけで運用が可能。レシピ情報開示も可能。

POP作成ソフト [EASY POP for SEICA]

SEICAに登録されている生産者情報、生産物情報、出荷情報をそのまま利用してPOPの印刷を行うソフトウェア。カタログ番号を入力するだけで簡単に印刷が行え、産地からの宣伝チラシやラベル作成、店頭でのPOPや外食産業におけるメニュー表など、工夫により様々な使い方ができる。

SEICA機能拡張ASPサービス



履歴管理システム



(富士通/ソリマチ等)

全農安心システム



りんご生産情報DB



Webサービス

- ① 識別子の統一
- ② データ形式の標準化
- ③ オープン & フリー



出力

出力

出力

出力

出力

POP作成ソフト



Push型店頭端末ソフト



産直支援POSシステム



Eマーケットプレイス



その他にも続々登場



代表研究者: 杉山純一

所属: 食品工学部 電磁波情報工学研究室

問い合わせ先: 〒305-8642